

3月議会 あらまし

※全議案の議決結果はホームページでご覧いただけます。



令和3年第1回定例会（3月議会）は、3月1日に開会し、24日までの会期で開催しました。代表及び一般質問は、9日から12日までの4日間で12人の議員が質問を行い、15日からの予算決算委員会では一般会計・特別会計それぞれの当初予算及び補正予算を審査しました。24日の議案審議では、新型コロナウイルス感染症対策への強化をはじめ「とうかいまるごとデジタル化構想」や、7月24日開館予定の「歴史と未来の交流館」の活用推進を含む一般会計予算など村長提出の議案36件すべてを可決しました。

令和3年度一般会計予算 総額188億2,200万円を可決

前年度比
8%減

～新型コロナウイルス対策に引き続き注力！～

賛成 (17)

反対(1)

3
月
定
例
会

賛成議員の主張

笹嶋 士郎 議員（新政とうかい）

常陸那珂共同火力発電所1号機にかかる村税収入増は、明るい材料である。昨年度から継続した新型コロナウイルス感染症予防対策を含む予算となっており評価できる。また、事業は村民に寄り添った形で計画し、しっかりと課題解決に向け実行すべき。

反対議員の主張

大名 美恵子 議員

コロナ対策で国の特別定額給付金に見合う支援策や水道料金の無料化等、全村民への確実な支援策がない。PCR等検査についてはやらないと断定している。国が個人の情報を一括管理するデジタル化推進に積極的予算のため反対。



東日本大震災から10年の節目にあたり、3月11日の本会議では、犠牲となられた方への黙とうをささげました。